

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	拓殖大学北海道短期大学
設置者名	学校法人拓殖大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
—	農学ビジネス学科 環境農学コース	夜・通信	0	4	6	10	7	
	農学ビジネス学科 地域振興ビジネスコース	夜・通信			4	8		
—	保育学科	夜・通信		0	8	8	7	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本学ホームページに公表している。 https://www.takushoku-hc.ac.jp/college-info/college-data/

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	拓殖大学北海道短期大学
設置者名	学校法人拓殖大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

拓殖大学ホームページに公表している。
<https://www.takushoku-u.ac.jp/summary/organization.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員	2019. 6. 15 ～2023. 5. 31	組織運営体制への チェック機能
非常勤	株式会社役員	2019. 6. 15 ～2023. 5. 31	組織運営体制への チェック機能
非常勤	認可法人役員	2020. 4. 1 ～2024. 3. 31	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	拓殖大学北海道短期大学
設置者名	学校法人拓殖大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>本学FD委員会および教務委員会において講義要項(シラバス)作成の計画を行い、それに基づき学務学生課より各教員へ作成依頼をする。様式は全学統一とし、記載項目を「科目名」「教員名」「開講」「目的と内容および到達目標」「授業計画(単位数に応じた授業回数)」「講義の進め方」「試験と成績評価」「担当教員から受講生諸君へ」「使用教材」の構成としている。</p> <p>個々の授業科目の記載内容が適正であるかといった観点から組織的に検討を行うため、講義要項(シラバス)は、学務学生課にて集約し、授業の方法や内容、到達目標、成績評価の方法などの記載について、FD委員でもある教務委員において精査するチェック体制を整えている。</p> <p>講義要項(シラバス)印刷・製本後は、新年度授業開始(4月)全学生および全教職員に講義要項(シラバス)冊子を配布すると共に、最初の各授業において受講生へ説明している。またホームページにおいても公表し学生が年間または2年間の履修計画、学修計画を立てる際や授業科目を選択する際に活用されている。</p>	
授業計画書の公表方法	<ul style="list-style-type: none"> ・大学生生活ガイドブック(全学生・全教職員に配布) ・本学ホームページ(https://www.takushoku-hc.ac.jp/study-program/syllabus/)
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>成績評価にあたり、「教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)」を踏まえ、予め、学生に各授業科目の到達目標、授業計画、成績評価の方法等を明示したうえで、「学習成果」「学位授与の方針」に沿った学修過程を重視し、各担当教員は試験やレポートなど適切な方法により、厳格かつ適正な成績管理を行い適正に成績評価して単位認定を行う。</p> <p>また、成績評価を客観的かつ厳格に行うことを目的として、GPAの基準を用いて「成績不振学生の面接」を行っている。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)
成績評価制度として、GPAを取り入れ、学習状況や学習成果を総合的に示す指標として活用している。

【GPAによる成績評価制度】

本制度は、各科目の成績素点に対してGP (Grade Point) を求め、各学生について、各科目の単位数を加味した1単位あたりのGP平均値、つまりGPA (Grade Point Average) を求め、これを学習状況や学習成果を総合的に示す指標として活用する制度です。

1. GPの設定

(1) 対象科目

履修届を提出した全科目としますが、①履修登録を取消した科目、②素点を示さず単位認定された科目、③その他GPA算入が適当でない認められた科目を除きます。

(2) 計算式

各科目のGP = (成績素点 - 55) / 10

ただし、この式の計算値が

①4.1以上 (素点96点以上)の時は、GP=4.0

②0.5~0.9 (素点60~64点)の時は、GP=1.0

③0.5未満 (素点59点以下)の時は、GP=0.0

評価・成績素点・GPの対照表

評価	素点	GP	評価	素点	GP	評価	素点	GP	評価	素点	GP	評価	素点	GP
S	100	4.0	A	89	3.4	B	79	2.4	C	69	1.4	F	59~0	0.0
	99	4.0		88	3.3		78	2.3		68	1.3			
	98	4.0		87	3.2		77	2.2		67	1.2			
	97	4.0		86	3.1		76	2.1		66	1.1			
	96	4.0		85	3.0		75	2.0		65	1.0			
	95	4.0		84	2.9		74	1.9		64	1.0			
	94	3.9		83	2.8		73	1.8		63	1.0			
	93	3.8		82	2.7		72	1.7		62	1.0			
	92	3.7		81	2.6		71	1.6		61	1.0			
	91	3.6		80	2.5		70	1.5		60	1.0			
90	3.5													

2. GPAの算出法

各学生につき、計算対象の全科目の成績を次の方法で集計します。

(各科目のGP×その科目の単位数)の総和

GPA =

計算対象科目の総単位数

※計算結果の小数第3位以下は切り捨てる。

3. 計算時期/計算対象科目

時 期	対 象 科 目
1年前期終了後	1年前期終了科目
2年進級時	1年の全科目
2年前期終了後	1年次科目、2年前期終了科目
卒業時	入学から卒業までの全科目

注1) 留年した学生は同一年次で再びGPAが計算される。

2) 再履修した科目は、元の成績が新しい成績に置き換えられて計算される。

4. GPA値の発表

GPA値は、学生本人および必要に応じ保護者に知らせます。

5. GPA値の記録

成績通知書には、2年進級時と卒業時のGPA値、成績証明書には、卒業時のGPA値を記載します。

<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大学生生活ガイドブック（全学生・全教職員に配布） ・本学ホームページ（https://www.takushoku-hc.ac.jp/tak/wp-content/uploads/2019/07/bde63faa6fb6973d13fa26576e49f0f1.pdf）
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）</p> <p>本学では建学の精神に基づき、各学科において学習成果、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を定めている。同方針に謳う到達目標は、学生が卒業・修了時に身につけている能力であり、社会に対しその能力を保証するものである。到達目標を達成したうえで、本学に2年以上在学し、各学科が定める授業科目及び単位数を修得した者に対しては、教授会の議を経て、卒業を認定している。その結果（成績）を学生・保護者へ通知し報告している。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大学生生活ガイドブック（全学生・全教職員に配布） ・本学ホームページ（https://www.takushoku-hc.ac.jp/college-info/fundamental-policy/）

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	拓殖大学北海道短期大学
設置者名	学校法人拓殖大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページにて公表 https://www.takushoku-u.ac.jp/summary/finance.html
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告(書)	

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:令和4(2022)年度事業計画 対象年度:2022年度)
公表方法: https://www.takushoku-u.ac.jp/summary/finance.html
中長期計画(名称:学校法人拓殖大学教育ルネッサンス2030 対象年度:2021~2025年度)
公表方法:ホームページにて公表 https://plan2030.takushoku-u.ac.jp/

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:本学ホームページに公表している。 https://www.takushoku-hc.ac.jp/college-info/accruited-college/
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:本学ホームページに公表している。 https://www.takushoku-hc.ac.jp/college-info/accruited-college/
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 農学ビジネス学科
教育研究上の目的 (公表方法: 大学生生活ガイドブック(全学生・全教職員に配布)、 本学ホームページ https://www.takushoku-hc.ac.jp/college-info/fundamental-policy/)
(概要) 環境保全型農業を基盤とした地域経済を維持・発展させることができる実践的な知識や技術を身につけ、新しい時代の農業及び地域経済を創造・発展させる人材を育成することを目的とします。
卒業の認定に関する方針 (公表方法: 大学生生活ガイドブック(全学生・全教職員に配布)、 本学ホームページ https://www.takushoku-hc.ac.jp/college-info/fundamental-policy/)
(概要) 職業生活の実践に必要な基礎的な知識や技術を習得し、新しい時代の農業及び地域経済を担うにふさわしい汎用的技能と専門性を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に短期大学士の学位(農学)を授与します。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法: 大学生生活ガイドブック(全学生・全教職員に配布)、 本学ホームページ https://www.takushoku-hc.ac.jp/college-info/fundamental-policy/)
(概要) 新しい時代の農業及び地域経済を担うにふさわしい教養と専門性を身につけるために、基礎科目と専門科目の二大編成とすると共に、食・農・環境及び経済に関する科目を配置し、講義科目と演習・実習科目との有機的な連携において実践性を重視する教育課程を編成し実施します。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法: 大学生生活ガイドブック(全学生・全教職員に配布)、 本学ホームページ https://www.takushoku-hc.ac.jp/college-info/fundamental-policy/)
(概要) 新しい時代の農業及び地域経済について、「食」「農」「環境」「経済」に関する基本的・実践的な知識や技術の修得を目指す人材及び地域経済の振興に興味・関心のある高い学習意欲を持った人材を入学者として受け入れます。 <ul style="list-style-type: none"> ・農業を学びたい人 ・食の安全や環境に興味がある人 ・農作物の加工・流通を勉強したい人 ・食と環境、経済、経営、情報の分野に興味がある人 ・拓殖大学または他大学への編入学を希望する人 ・コミュニケーション能力や社会性を高めたい人

学部等名 保育学科
教育研究上の目的 (公表方法: 大学生生活ガイドブック(全学生・全教職員に配布)、 本学ホームページ https://www.takushoku-hc.ac.jp/college-info/fundamental-policy/)

<p>(概要)</p> <p>「感動体験こそ教育の原点」を基本理念に、自己表現力・指導力・社会性を身につけ、こどもの豊かな感性を育むことのできる幼稚園教諭・保育士を養成することを目的とします。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：大学生活ガイドブック(全学生・全教職員に配布)、本学ホームページ https://www.takushoku-hc.ac.jp/college-info/fundamental-policy/)</p>
<p>(概要)</p> <p>専門性の高い幼稚園教諭養成のための教育課程、保育士養成のための教育課程の授業科目に加え、保育者として必須の素養たる個性的で豊かな人格を育むための授業科目を受講し、かつ所定の単位を修得した学生に短期大学士（保育学）の学位を授与します。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学生活ガイドブック(全学生・全教職員に配布)、本学ホームページ https://www.takushoku-hc.ac.jp/college-info/fundamental-policy/)</p>
<p>(概要)</p> <p>卒業と同時に幼稚園教諭2種免許・保育士資格・社会福祉主事任用資格を取得できると共に、保育者・社会人として必要な様々な人間性を育み、自己成長を促すことができる学習環境として、感動体験を伴うミュージカル活動を実践するなど、講義科目と演習・実習科目との有機的な連携において実践性を重視する教育課程を編成し実施します。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学生活ガイドブック(全学生・全教職員に配布)、本学ホームページ https://www.takushoku-hc.ac.jp/college-info/fundamental-policy/)</p>
<p>(概要)</p> <p>幼稚園教諭や保育士を目指す個性溢れる人材及び向上心を持ち高い学習意欲を持った人材を入学者として受け入れます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが大好きな人 ・子どもの成長を心から手助けしたいと思っている人 ・表現力を身につけ、子どもの心をひきつける先生をめざす人 ・折り紙や工作を学び、子どもたちに伝えたい人 ・あたたかさや思いやりがあって、ボランティアに関心がある人 ・スポーツ、文化・芸術活動に情熱をかたむけた経験のある人

②教育研究上の基本組織に関すること

<p>公表方法：本学ホームページに公表している。 https://www.takushoku-hc.ac.jp/college-info/college-data/</p>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	—	—					—
農学ビジネス学科	1人	9人	3人	0人	2人	0人	15人
保育学科	—	3人	4人	0人	1人	0人	8人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
1人		41人					42人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：本学ホームページ(https://www.takushoku-hc.ac.jp/study-program/faculty-member/)					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
FD委員会において「学生アンケート等による授業改善」を計画し、全教員（非常勤講師を含む）にて実施し、報告書をまとめている。報告書は、教職員に配布されているほか、本学図書館に保管し、学生も閲覧できるようにしている。 また、教員相互の授業参観について、FD委員会において対象科目や期間など設定せず自由に授業参観できるよう教授会にて確認され実施されている。教員は、これらの内容を踏まえ次年度以降の改善と実行に移されている。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
農学ビジネス学科	170人	60人	35.3%	340人	165人	48.5%	0人	0人
保育学科	60人	37人	61.7%	120人	87人	72.5%	0人	0人
合計	230人	97人	42.2%	460人	252人	54.8%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
農学ビジネス学科	160人 (100%)	120人 (75.0%)	35人 (21.9%)	5人 (3.1%)
保育学科	39人 (100%)	2人 (5.1%)	36人 (92.3%)	1人 (2.6%)
合計	199人 (100%)	122人 (61.3%)	71人 (35.7%)	6人 (3.0%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
農学ビジネス 学科	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
保育学科	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
<p>本学FD委員会および教務委員会において講義要項（シラバス）作成の計画を行い、それに基づき学務学生課より各教員へ作成依頼をする。様式は全学統一とし、記載項目を「科目名」「教員名」「開講」「目的と内容および到達目標」「授業計画（単位数に応じた授業回数）」「講義の進め方」「試験と成績評価」「担当教員から受講生諸君へ」「使用教材」の構成としている。</p> <p>個々の授業科目の記載内容が適正であるかといった観点から組織的に検討を行うため、講義要項（シラバス）は、学務学生課にて集約し、授業の方法や内容、到達目標、成績評価の方法などの記載について、FD委員でもある教務委員において精査するチェック体制を整えている。</p> <p>講義要項（シラバス）印刷・製本後は、新年度授業開始（4月）全学生および全教職員に講義要項（シラバス）冊子を配布すると共に、最初の各授業において受講生へ説明している。またホームページにおいても公表し学生が年間または2年間の履修計画、学修計画を立てる際や授業科目を選択する際に活用されている。</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
<p>成績評価にあたり、「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」を踏まえ、予め、学生に各授業科目の到達目標、授業計画、成績評価の方法等を明示したうえで、「学習成果」「学位授与の方針」に沿った学修過程を重視し、各担当教員は試験やレポートなど適切な方法により、厳格かつ適正な成績管理を行い適正に成績評価して単位認定を行う。また、成績評価を客観的かつ厳格に行うことを目的として、GPAの基準を用いて「成績不振学生の面接」を行っている。</p>				
学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
—	農学ビジネス学科	66 単位	有・無	単位
	保育学科	66 単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：公表方法：本学ホームページに公表している。

1. 校地・建物、構築物・機器備品、図書・車輛

<https://www.takushoku-hc.ac.jp/takusho-life/campus-facility/>

2. 交通アクセス

<https://www.takushoku-hc.ac.jp/access/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

1年次

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
—	農学ビジネ 学科	805,000円	180,000円	200,000円	施設設備整備費
—	保育学科	755,000円	180,000円	200,000円	施設設備整備費

2年次

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
—	農学ビジネ 学科	805,000円	-円	200,000円	施設設備整備費
—	保育学科	755,000円	-円	200,000円	施設設備整備費

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組

(概要)

- ・各授業科目の初回授業において、授業計画や成績評価に関わる内容などを学生へ告知。
- ・新年度開始時に、カリキュラムの科目履修方法などゼミナール担当教員を中心に、各学生へ指導支援し履修登録を行う。(ゼミナール学生の履修登録状況も学務学生課からゼミナール担当教員に配布され確認している。)
- ・履修登録取消制度を設け、取消となった科目のGPAの計算から除外される。
- ・各学年とも前期成績をゼミナール担当教員より、配布すると共に修学指導を行っている。
- ・授業の出欠管理を毎回行っており、出席不良の学生には、ゼミナール担当教員を中心に本人への面談や保護者との連絡報告を行い、各学生が意義のある大学生活になるよう務めている。

b. 進路選択に係る支援に関する取組

(概要)

- ・学生が所属するゼミナールを中心に教員が、学生の進路を入学当初より確認し支援している。
- ・就職希望者へは、合同企業説明会への参加や各就活指導(履歴書作成や面接対策)などの支援を就職委員および就職指導室にて行っている。
- ・進学希望者(4年制大学3年次編入学など)へは、各進学先より届く情報を各教務掲示にて学生へ公表しているほか、教務委員を主にして、ゼミナール担当教員が学生への受験指導の支援を行っている。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

- ・常日頃より、学生の様々な悩みに対応できるよう学生・地域国際交流委員および学務学生課を主にして全教職員が対応できる支援体制をとり情報の共有を図りながら学生対応を行っている。また、必要に応じて保証人との連携を密に取りながら、適切な対応に努めている。その他、「スクールカウンセラー」および「こころの相談室」を設置している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：本学 HP (<https://www.takushoku-hc.ac.jp/study-program/faculty-member/>)
(<https://www.takushoku-hc.ac.jp/college-info/college-data/>)

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	拓殖大学北海道短期大学
設置者名	学校法人拓殖大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		39人	38人	40人
内 訳	第Ⅰ区分	23人	26人	
	第Ⅱ区分	0人	0人	
	第Ⅲ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				40人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。） 及び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）			
修業年限で卒業又は修了 できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が標準単位数 の5割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の5割以下)	人	0人	0人
出席率が5割以下その他 学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に 連続して該当	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。） 及び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）
の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期 後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	0人	13人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	人	0人	0人
計	人	0人	13人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。